

I. 加筆版リーダー会議検討項目(12.01)

①模造紙からPPTへの転換、

模造紙一枚から、PPTストーリーへ イラストレーターなどの活用
発想・自己省察(主体的・対話的)のデザイン画によるプレゼンから
調査考察による課題解決(テーマ展開)の story を語るプレゼンへ

②各テーマによる調査対象の考え方、

当事者(小中高生)と専門家への量的(質問紙)調査と質的(聞き取り)調査

○水野瑚都(みずのこと)先生

★高校における学びの実際、探究の時間の状況、高校教員としてのやりがい

○佐藤 風(さとう・さやか) 福山市立動物園飼育員 テキスト第10章第3節

・10章3子どもも大人も同じ高さの目線でともに楽しみ学べる場所へ—福山市立動物園の取り組み

・集中講義に参加して(21年度集中講義講師として終了後に届いた便り)

○馬居優子 クラシコム(kurashi.com) 株式会社クラシコムの役員・従業員 - Wantedly

○Jaewon LEE 東京大学大学院修士課程(21年度集中講義ゲスト)

「問題定義から解決まで」の困難を共に乗り越える皆さんへ

○依頼予定 ◇栄養教諭(栄養教育) ◇一級建築士(防災)

③調査実施手順(zoom活用も含めた)と実施過程の検討、情報共有化、

共通の情報交換ツールの設置、交換のルール(内容と方法とスケジュール)

④講義時間以外での調査結果の考察過程での情報交換の方法、

チームメンバー、チーム相互、米津・馬居、それぞれとの情報交換のルール

LINE(共通、個別)、zoom、講義メール、電話

⑤最終プレゼンと作品の公開の方法など、

35分を目途、チーム相互評価、(25分+5分評価+5分補充発表)×3チーム ⇒ 105分?)

※教科書8章「教室の中から未来創りに挑む」

3種の資質・能力、3種の学習方法、3種の評価・・・その実践化への試行錯誤を
単元構成、本時の授業、カリキュラムマネジメント

※教科書7章「人口減少時代を拓く「ヒト、モノ、コト」の再定義」

II. 今後の講義・活動日程に即しての実践予定項目一

1) 12月2日の活動においては

①各チームのテーマ確定と調査対象の検索・選定と調査方法の検討

⇒上記項目確定、検索、選定、検討結果に基づき実施スケジュールの策定

⇒次回講義日(12月16日)までに行う調査対象・内容・分担、

⇒情報交換・考察・共有の方法の明確化

2) 12月16日の活動においては

調査・考察・PPT・プレゼン・評価への試行錯誤(その1)

(思考⇒調査⇒考察⇒表現:文字、イラスト、デザイン⇒PPT)

3) 冬季(年末年始)休日の活用方法(12月2日、16日にて検討)

調査考察の対象、分担、連携、情報交換の方法の明確さ

※LINE or zoom 活用によるリーダー会の開催可能性

4) 1月20日の時点での作品の仕上がりの予見

★**模擬プレゼン**

5) 1月27日のプレゼン・相互評価での具体像の共有化。

◇**プレゼン用PPT** ◇**公開用PPT**

Ⅲ. 3チーム共通の考慮・考察コンセプト

3種の資質・能力

知識・技能、 思考力・判断力・表現力等 学びに向かう力・人間性等

3種の学び

主体的な学び 対話的な学び 深い学び

3種の育成すべき資質・能力（評価の判断軸）

学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養
未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成
生きて働く知識・技能の習得

図1 幼児期に育てほしい10の姿→小・中・高の教科等の配置と連携のモデル図

アプローチカリキュラム スタートカリキュラム 小中連携、中高連携

図4 教科等間・学校種間・学年間・教室間横断的な視点のモデル図

教科と学校種を超える横断型
学校種を超える教科等固有の資質・能力

図2 三種の学びと資質・能力育成モデル図

「社会に開かれた教育課程」の実現
各学習における「カリキュラム・マネジメント」
「アクティブ・ラーニング」の三つの観点からの学習過程の質的改善

図5 知識・技能等を資質・能力に転換する過程のモデル図

図3 人口減少時代の学校教育制度構想モデル図

誰もが育児休暇、多様な「保育施設」、3歳からの「幼児教育」を可能に

図6 人口減少時代の幼児教育・学校教育制度改編・改変への社会的圧力のモデル図

小人数学級、多様な特性、異なる文化にルーツをもつ子どもたちの増加
9割の女性が就労、出産年齢が30代に
幼児教育無償化（子ども子育て支援新制度）
学校の常識 教師の意欲とは異なる次元の変化が!!
A I + グローバル ⇨ 2030年問題 人口減少時代

Ⅳ. 参考文献

「第7章 人口減少時代を拓く「ヒト、モノ、コト」の再定義」

「第8章 教室の中から未来創りに挑む」

『人口減少時代の家族・学校・地域・社会～生涯にわたる学びと教養の新たな可能性を求めて』

NSK出版 2020年1月

「未来社会につなぐ！現代社会の課題と社会科授業デザイン」

『社会科教育』 2016年4月号～2017年3月号 連載12回 明治図書

「今、人気を誇る「ONE PIECE」の魅力」『児童心理』2016年12月号 金子書房

「子どもの現実—超少子社会を生きる男女の自立への道を拓き開くために—」

『考える子ども』2021年7月 No.407 社会科の初志をつらぬく会 個を育てる教師のつどい

『子育て事情・子育て支援』の動向について『子ども社会研究』23号 2017年日本子ども社会学会

「補論 新学習指導要領が描く授業者の情景」 「第7章 教科からみる高校教育改革の課題」

『高校教員の教育観とこれからの高校教育』研究報告No.92 公益財団法人中央教育研究所 2018年

「第5章 「『1人1台』(PCタブレット≠端末)による公立小学校の脆弱性の顕在化」

『小学校教員の教育観とこれからの学校教育—デジタルの流れの中で—』研究報告No.92 2022年